

# スポレク2020（柔道競技）新型コロナウイルス感染症対策について

## 1 観覧希望者について

- (1) 監督、コーチ、選手、審判員、大会役員、補助員以外の観覧希望者は、事前（選手の参加申込書提出時）に所定の「観覧申込書」を大会事務局に提出する。事前の申し込みがない場合は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (2) 観覧希望者は、出場選手の同居家族のみとし、海外及び国内の感染拡大地域への訪問歴が2週間以内にある場合は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (3) 観覧希望者は、大会当日を含めて2週間【11/10(火)～23(月)朝まで】の、検温・健康状態を、所定の「健康観察チェックシート」に記録し、参加団体で取りまとめて、大会当日に受付に提出する。
- (4) 監督、選手、審判、役員、補助員以外の観覧希望者は、2階観覧席のみ入場可とする。原則、1階には出入りできない。
- (5) 3密を回避するため、観覧希望者の団体ごとの受付時刻を指定し、後日、団体責任者に連絡するので、観覧希望者に周知徹底する。
- (6) 観覧希望者の座席は、団体ごとに割り振り、後日、団体責任者に連絡するので、他の応援席には立ち入らないことを周知徹底する。また、履物は各自で管理し、1階の下駄箱は使用しない。
- (7) 当日の検温の結果、37.5℃以上の者、現症状が異常と判断された者、健康観察チェックシートの提出がない者は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (8) 館内では、常にマスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。
- (9) 会場に入る際は、手指の消毒（再入場の際も同様）をするだけでなく、人との接近・接触を避ける。
- (10) 観覧希望者の人数制限は設けないが、前後、左右ともに隣接して座らないことを徹底する。
- (11) ソーシャルディスタンスをキープできていない状況での大きな声を出しての応援はひかえる。
- (12) 会場内に、QRコードを読み取ることで、大会及び会場（スポレク2020柔道競技・愛媛県武道館）に来場した際の行動履歴が残ったり、当該大会での感染者情報が届くアプリの案内があるので、登録を心掛ける。団体責任者は、事前にアプリの登録を呼び掛ける。
- (13) 大会終了後は、2階観覧席出入口から退場する。

## 2 選手について

- (1) 選手は、事前に所定の「参加申込書」に氏名が記載された者とする。大会2週間前から県外への訪問歴がある選手は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (2) 選手は、大会当日を含めて2週間【11/10(火)～23(月)朝まで】の、検温・健康状態を、所定の「健康観察チェックシート」に記録し、参加団体で取りまとめて、大会当日に受付に提出する。
- (3) 選手は、1階のみ入場可とする。原則、2階には出入りできない。
- (4) 3密を回避するため、団体ごとの受付時刻を指定し、後日、団体責任者に連絡するので、選手に周知徹底する。
- (5) 参加人数によっては、ウォーミングアップの時間や場所を指定する。その場合は、団体責任者に連絡するので、事前に選手に周知徹底する。
- (6) 選手の待機場所は、団体ごとに割り振り、後日、団体責任者に連絡するので、他の待機場所には立ち入らないことを周知徹底する。また、履物は各自で管理し、1階の下駄箱は使用しない。
- (7) 当日の検温の結果、37.5℃以上の者、現症状が異常と判断された者、健康観察チェックシートに異常があると判断された者、健康観察チェックシートの提出がない者は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (8) 更衣室での3密を回避するため、選手はできる限り、柔道衣を着て来場する。
- (9) 館内では、試合中及びウォーミングアップ中以外は、常にマスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。
- (10) 会場に入る際は、手指の消毒（再入場の際も同様）をするだけでなく、人との接近・接触を避ける。
- (11) ソーシャルディスタンスをキープできていない状況での大きな声を出しての応援はひかえる。
- (12) 会場内に、QRコードを読み取ることで、大会及び会場（スポレク2020柔道競技・愛媛県武道館）に来場した際の行動履歴が残ったり、当該大会での感染者情報が届くアプリがあるので、登録を心掛ける。団体責任者は、事前にアプリの登録を呼び掛ける。
- (13) 館内では、常にマスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。（ウォーミングアップ中、

試合中ははずしてもよい)

### 3 監督、コーチについて

- (1) 監督、コーチは、海外及び国内の感染拡大地域への訪問歴が2週間以内にある者は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (2) 事前に所定の「参加申込書」に氏名が記載された監督1名、コーチ3名以内のみがチームに帯同できる。事前の申し込みがない場合は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (3) 監督、コーチは、大会当日を含めて2週間【11/10(火)～23(月)朝まで】の、検温・健康状態を、所定の「健康観察チェックシート」に記録し、選手分と一緒に大会当日に受付に提出する。
- (4) 監督、コーチは、1階のみ入場可とする。原則、2階には出入りできない。
- (5) 3密を回避するため、団体ごとの受付時刻を指定し、後日、団体責任者に連絡するので、指定された時間内に受付を行う。
- (6) 当日の検温の結果、37.5℃以上の者、現症状が異常と判断された者、健康観察チェックシートに異常があると判断された者、健康観察チェックシートの提出がない者は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (7) 館内では、常にマスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。
- (8) 会場に入る際は、手指の消毒（再入場の際も同様）をするだけでなく、人との接近・接触を避ける。
- (9) 大きな声を出しての応援や指示はひかえる。
- (10) 会場内に、QRコードを読み取ることで、大会及び会場（スポレク2020柔道競技・愛媛県武道館）に来場した際の行動履歴が残ったり、当該大会での感染者情報が届くアプリがあるので、登録を心掛ける。団体責任者は、事前にアプリの登録を呼び掛ける。

### 4 大会役員、審判員、補助員について

- (1) 大会役員、審判員、補助員は、海外及び国内の感染拡大地域への訪問歴が2週間以内にある者は会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (2) （一財）愛媛県柔道協会から大会役員、審判員、補助員として委任された者のみが、会場（愛媛県武道館）内に入場することができる。
- (3) 大会役員、審判員、補助員は、大会当日を含めて2週間【11/10(火)～23(月)朝まで】の、検温・健康状態を、所定の「健康観察チェックシート」に記録し、大会当日に受付に提出する。
- (4) 大会役員、審判員、補助員は、1階のみ入場可とする。原則、2階には出入りできない。
- (5) 3密を回避するため、事前に受付時刻を指定し、後日連絡するので、指定された時間内に受付を行う。
- (6) 当日の検温の結果、37.5℃以上の者、現症状が異常と判断された者、健康観察チェックシートに異常があると判断された者、健康観察チェックシートの提出がない者は、会場（愛媛県武道館）内に入場できない。
- (7) 館内では、常にマスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。
- (8) 会場に入る際は、手指の消毒（再入場の際も同様）をするだけでなく、人との接近・接触を避ける。
- (9) 大きな声を出しての応援や指示はひかえる。
- (10) 会場内に、QRコードを読み取ることで、大会及び会場（スポレク2020柔道競技・愛媛県武道館）に来場した際の行動履歴が残ったり、当該大会での感染者情報が届くアプリがあるので、登録を心掛ける。団体責任者は、事前にアプリの登録を呼び掛ける。

### 5 出入口について

- (1) 大会役員、審判員、補助員の出入口は、搬入口とする。
- (2) 監督、コーチ、選手の出入口は、正面玄関とする。
- (3) 観覧希望者の出入口は、2階観客席出入口とする。

### 6 会場について

- (1) 2階観覧席に入るのは観客のみ、1階に入るのは来賓、監督、コーチ、選手、大会役員、審判員、補助員のみとする。
- (2) 試合数に合わせて、最大8試合場を設営予定
- (3) 主道場内で待機する選手は、試合直前の選手のみとする。（詳細は申込終了後決定する）
- (4) 計量会場、~~主~~ 剣道場、副道場とする。

- (5) 開会式前のウォーミングアップ会場は、主道場及び柔道場とする。
- (6) 各会場に消毒薬を常備する。
- (7) 監督・コーチ、選手席（パイプイス）を設けたり、主道場への入場を制限したりすることで、待機中の密を避ける。

## 7 開・閉会式について

- (1) 間隔をあけて整列（参加選手数によって、開会式の参加人数を制限する）例：団体の代表選手のみ
- (2) 全員マスク（フェイスシールド・マウスシールド含む）を着用する。
- (3) 優勝杯返還はなし（優勝旗は事前に回収する）。

## 8 試合前・中・後について（開会式終了以後）

- (1) 試合前の控え会場は、柔道場・剣道場・副道場とする。詳細は、参加申込締め切り後に決定する。例：男子柔道場、女子剣道場・副道場など
- (2) 試合直前に、主道場に入る。
- (3) 試合終了後は、勝ち残っていても一旦主道場を出るなどし、主道場内での密を避ける。（詳細は後日連絡）

## 9 来場に際して

- (1) 本大会の新型コロナウイルス感染症対策について、団体責任者が、団体関係者全員に周知徹底する。
- (2) ロと鼻を完全に覆うマスクや飛沫飛散防止に十分なフェイスシールド・マウスシールド等を全員準備する。
- (3) 検温（**37.5℃以上の発熱があれば会場に入れない。大会中の体温上昇でも会場から出る。**）の徹底
- (4) 手指の消毒の徹底
- (5) 名簿及び健康観察チェックシート（氏名・住所・連絡先・検温・健康観察）の作成及び提出
  - ・ 監督、コーチ、選手については、監督が受付時に提出。
  - ・ 審判員については、大会本部で名簿を作成する。健康チェックシートは事前に事務局から郵送あるいは送信し、当日の受付で提出してもらう。
  - ・ 大会役員（監督・審判以外の）については、大会本部で名簿を作成する。健康観察チェックシートは事前に事務局から郵送あるいは送信し、当日の受付で提出してもらう。
  - ・ 受付は終日設置する。
  - ・ 大会前2週間【11/10(火)～11/23(月)】以内に、次に該当する場合は出場を慎重に判断（**場合によっては欠場**）する。
    - 発熱37.5℃以上が続く場合（**当日も発熱していれば欠場**）
    - 咳、のどの痛みなどの風邪の症状がある。
    - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある。
    - 嗅覚や味覚の異常がある。
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。
    - 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる方がいる。
    - 過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

## 10 大会終了後時、その後について

- (1) 大会中に、体調に不安を覚えた場合は、なるべく早く、検温、健康観察を行うとともに、医療機関を受診する。
- (2) 大会終了後2週間以内【～12/7(月)】に体調に異変があった場合は、（一財）愛媛県柔道協会柔道協会事務局に速やかに連絡する。

## 11 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症感染防止対策に必要な物品、消耗品については、大会本部で準備する。

### 非接触型体温計10

正面受付4、階観覧席4、本部席1

マスク（1箱） 本部席に1箱（50枚入り程度）

手指消毒用アルコール15 ※ 館内に設置してある消毒用アルコール以外

正面受付4、本部席1、ステージ1、審判会議場1、2階観覧席4、主道場出入口2・予備2

ビニール手袋1箱 ゴミ袋(適宜) 雑巾(適宜) 本部席に保管

- (2) 愛媛県武道館の順守事項があれば、それらを追加及び優先する。
- (3) その他、現場の判断で必要と思われる対策を、責任者の判断もしくは必要に応じて会長・副会長等と相談の上実施する。

# 柔道大会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(一財)愛媛県柔道協会 総務委員会

(大会運営部会)

## 1 大会開催に関して

大会開催にあたり、密集、密閉等を避けるため、会場の選択は可能な限り主道場で実施することとし、感染予防と、万が一感染者が発生した場合のクラスター発生予防に対して徹底した措置・対策を講じ周知する。

## 2 大会運営上の留意事項(主道場実施を想定)

### (1) 共通事項

#### ① 会場運営・総人数等、感染予防およびソーシャルディスタンスの順守

開催にあたり、大会規模に応じて、選手数、審判・役員数、観客数等を決定し、開閉会式・表彰式等はできる限り簡略化する。

館内の各出入り口には消毒液を設置し、各自がこまめな手指消毒および手洗いを実施、選手以外の入場者は、原則として常時マスクを着用することとし、選手控室、役員席、観客席等の隣席との距離が1～2m以上離れる設定を行う。

#### ② 入場時チェックと健康記録表のチェックと保管

選手・役員・係員・審判員・救護関係者・観客応援者などすべての参加予定者は入場時に検温等の入場チェックを実施し、事前に配布された2週間前からの健康記録表を、当日入場時に提出する。提出された健康記録表は個人情報不漏洩しないよう、所定の期間保管し、保管時期終了後は確実に破棄する。

3密を回避するため、各参加団体毎に受付時間・受付場所を別途設定、事前連絡する。

#### ③ 健康記録表や症状等による入場制限

検温の結果37.5℃以上の者、現症状が異常と判断された者、健康記録表の提出がない者の入場を不可とする。また、参加者の健康記録表に異常があると判断された場合も入場を不可とする。また、各人の同居家族や身近な親族等に感染者や感染が疑われる方がいる場合等、参加が困難と判断された場合も参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがあり得る。その他、各項((2)～(4))の当該規定に抵触する場合や、感染予防措置を遵守できない参加者は、他の参加者の安全確保等の観点から入場・参加不可となる。

### (2) 選手への対応

出場選手は大会2週間前から県外に出ていない者とし、試合場に到着時、選手受付で2週間前からの健康記録表を競技委員長に提出し、健康記録表で発熱や症状を有する選手は試合への参加を不可とする。健康記録表を持参しない選手も同様とする。選手はマスク着用(アップ・試合中は着用不要)、手洗い義務を励行し、試合待機中の位置取り(選手間1～2m離す)に注意し、大声での応援、指示は禁止する。

### (3) 監督・コーチ・大会役員・審判の対応

監督・コーチ・大会役員・審判は海外及び国内の感染拡大地域への訪問歴が2週間以内にある方は参加不可とする。選手と同様に健康記録表を提出し、同じ基準で参加の可否を判断する。原則として常時マスクを着用することとする。

各団体の監督・コーチの人数制限について、団体試合においては、1チームにつき監督・コーチ各1名(計2名)とする。個人戦においては、各団体4名までとする。(事前申込要)

#### ★試合中の大声での指示、指導の禁止(全柔連規定から抜粋)

国内外を問わず国際柔道連盟試合審判規定で行われる試合では、試合中断中(主審の「待て」から「はじめ」までの間)以外でのコーチの発声については、審判員から厳しくコントロールされ1回目は口頭注意が出され、2回目は退場が命じられる。

今後、国内の試合では国際柔道連盟試合審判規定に抛らず、大会主催者は大会規模、参加人員、会場面積等を検討した上で、大会の申し合わせにより、試合中(全ての間)の大声での指示、指導は禁止し、審判員に注意と退場の権限を与えることとする。

上記の内容に準じて、各大会毎に大会本部において詳細規定を決定する。

### (4) 観客の対応

観客(観戦者)は選手の同居家族のみとし、事前(選手大会申し込み時)に申請することとする。なお、大会役員等と同様に、海外及び国内の感染拡大地域への訪問歴が2週間以内にある方は入場不可とする。また、健康記録表を提出し、同じ基準で入場の可否を判断する。原則として常時マスクを着用することとする。

試合観戦について、所定の観客席に所属団体毎に位置取り、各人の隣席との距離(1~2m離す)に注意し、密集する応援や大声での応援は禁じる。主催者が中止し、注意を守らない観客には退場を宣告する。

## 3 その他の留意事項および補足事項、諸連絡

- ① 館内への入場時の受付時間・受付場所等については、3密回避のため事前に設定された事項に従って実施することとする。
- ② 上記の感染予防措置の決定と事前通知や注意事項を周知しておくこと。
- ③ 館内共用施設の使用等ならびに館内消毒について、愛媛県武道館の規定を順守する。
- ④ 参加費は原則として事前振込とし、各所属団体が期日までに手続きを行うこととする。
- ⑤ パンの販売は当面行わず、その他、上記以外に必要と判断された事項については、大会本部で決定し、別途連絡する。
- ⑥ 柔道場で実施する場合も、この指針に順するが、無観客を基本原則とする。